

居場所
西部
掛川市風の家 

障害のある人の就労支援と社会参加を支え、誰もが利用できる居場所を目指す

障害のある人が地域の中で自分らしく生きがいを持ち、自立した生活ができるよう就労支援を主な活動とするNPO法人が運営。元は和食店だった店舗を借りた、バリアフリー仕様の常設の居場所です。JR掛川駅からは徒歩圏内。交通手段も便利なところで、トイレや段差を気にすることなく、誰でも行きたいときにふらりと立ち寄り、食事やお酒もちょっと楽しめる場所を目指したそうです。地域福祉の経験が豊富なメンバーが立ち上げたばかり、困りごと等の相談に気軽に乗り、「中部ふくしあ」はじめ行政や専門職につながることも。日替わり定食が人気で、昼食時は近隣の会社員や地元の人で混みます。飲食スペース横には就労支援B型の作業室。障害の有無にかかわらず、風通しのよい、あたたかな関係が築きあえる居場所です。

ここに注目!!



就労継続支援B型の事業として、地元企業から仕事を受けている。定員は20名以下で、3名の職員とボランティアが支える。



日替わりの定食(500円)のほか、カレーやうどん(300円)、コーヒー(250円)など。



地域に開かれた居場所として定期的にイベントを開催するほか、地元のお祭り等にも積極的に参加。写真は夏に行われた「こども企画」。

DATA
☎ 0537(25)7625
掛川市緑ヶ丘1丁目9-5
FAX / 0537-25-7625
開設時間 / 月～金曜日 9:00～17:30
E-mail / npo510kazenoie@ybb.ne.jp
URL / https://kazenoie.sakura.ne.jp/wp/ アクセス / JR掛川駅より徒歩5分
駐車場 / 有
運営主体 / NPO法人風の家
代表者 / 久田恵美子(理事長)
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆障害のある人の社会参加、就労支援
- ◆就労継続支援B型事業所
- ◆空き店舗(食堂)
- ◆地域の福祉資源との連携

居場所
西部
袋井市街の居場所 もうひとつの家 駅前ビル1階が居場所
助け合いの精神が世代を超えて伝わっていく

静岡県で最初の居場所とされるのが「もうひとつの家」。平成11年に助け合い活動の中から居場所を始め、平成21年、JR袋井駅前のビル1階に移転しました。「いつ来ても、いつ帰ってもいい」がコンセプト。駅前という立地、ガラス戸を通して中が見えるオープンな造りのため、高齢者や地域の人だけでなく電車やバスを利用する人、会社員や学生、親子連れも気軽に立ち寄ります。長年培ったネットワークにより提供される新鮮で、安心な食材を使ったランチは300円。決して広くはない「もうひとつの家」。丸テーブルを囲み食事をするうちに隣合わせになった人とも会話が弾みます。高齢者を中心におしゃべりしたりUNOに興じたり、自由気ままに一日を過ごします。駅前ビルの中にもかかわらず、わが家のごとくゆっくり過ごせる温かな居場所です。

ここに注目!!

毎日、提供しているランチは300円。ボランティアの主婦が毎日、交代で調理。その日の担当者の個性が献立に現れます。食材等必要なものは地域のネットワークで良いものを安く調達。「皆さんからの寄付にも助けられています」と稲葉さん。毎週土曜日は「カレーの日」。子どもと80歳以上はカレーが無料に。その他の方は200円です。



ランチの後にUNOを楽しみます。90歳を超える方も熱中。部屋いっぱい元気な笑い声が響きます。




NPO法人「たすけあい遠州」が発行している時間通貨「周」送迎サービスなどは「周」を使い助け合いをしています。

開設のきっかけキーワード

- ◆助け合い・時間通貨
- ◆地域のふれあい
- ◆多様なネットワーク

※令和2年3月閉鎖

DATA
☎ (0538) 43-7775
袋井市高尾町1-1
FAX / 0538-43-7775
開設時間 / 火～土曜日9:00～16:00
アクセス / JR袋井駅前
駐車場 / 有
運営主体 / NPO法人 たすけあい遠州
代表者 / 稲葉ゆり子(代表理事)
*視察は多数の場合、事前の電話連絡必要


居場所
西部
袋井市オレンジカフェ ありがとう 実家の空き家を活用した居場所
お弁当・唐揚げ等のお店併設で運営資金に

平成30年4月にオープンした居場所。元保育士で民生委員・児童委員を務めている寺田清子さんが空き家になっていた夫の実家を活用。袋井市が開催した「お元気サポーター養成講座」受講をきっかけに、高齢者を中心に地域の人々が気軽に集まり、悩みごとや困りごとを語り合える居場所をつくることを決意。知人に声をかけ仲間を募ると同時に、地元自治会・民生委員や地域包括支援センターとも協働。時間をかけて周囲の意見や要望を聞き開設にこぎつけた。運営は寺田さんとボランティア12名が交代で担当。決まったプログラムはなく、利用者が自由にゆっくり過ごすことを大切にしているが、専門職と連携して相談等に乗ることも。近くの小学校の福祉体験の場となるほか、周辺は転勤族の若い世帯も多く、子ども連れの保護者の利用もあり、赤ちゃんから高齢者まで交流が広がっている。


ここに注目!!

敷地内に寺田さんの長男が切り盛りするテイクアウトの弁当・惣菜店を併設。素材や栄養にこだわったヘルシー料理。購入した弁当はカフェ内で食べることができる。カフェの運営はテイクアウトの収益でまかない、各種補助金や助成金は受けていない。(日替わり弁当550円等)



居場所の看板犬「ひすいちゃん」。特別に訓練されており、誰にでも人懐っこい。居場所は旧東海道に面し、散歩の人もふらりと立ち寄りという。

DATA
☎ 0538(42)0800
袋井市国本1200-1
開設時間 / 10:00～14:00
(火～土曜日開設)
惣菜店は18:00まで
アクセス / 自主運行バス「袋井東コミュニティセンター」下車、徒歩2分
駐車場 / 有(3～4台)
運営主体 / カフェありがとう
代表者 / 寺田清子
*視察は事前の電話連絡必要



開設のきっかけキーワード

- ◆市の講座受講
- ◆空き家(実家)の活用
- ◆家族の理解と協力
- ◆地域の福祉人材との連携
- ◆惣菜店併設
- ◆市の情報発信

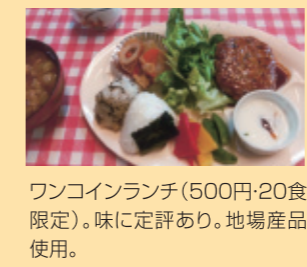
居場所
西部
袋井市茶ちゃ処 

空き家が叶えた「地域にお店を」の願い

昭和の頃は賑やかだった袋井市笠原地区。だんだんと店舗が減り、地域の人々が集う場がないことから「お店が欲しい」と考えていた鈴木貢さんと友人が、木造平屋の空き家を提供するという知人からの申し出をきっかけに周囲の女性達にも声をかけてきた居場所が「茶ちゃ処」。開設は平成30年11月。毎週金曜日、地元の野菜や手作りの販売からスタート。翌年7月からランチの提供を始めました。台所の改装は保健所の指導を受け、大工仕事はスタッフの家族も協力。不用品を持ち寄り食器や机等を整えました。広報は自治会や公民館もサポート。小さな子どもを連れた母親から高齢者、学校の休みの時は小学生と、多世代が利用しており、リピーターが多いそう。おしゃべりして、買い物をして、美味しいランチを食べて…。「お店をやっている私達自身がとても楽しい」と鈴木さんは語ります。

ここに注目!!

運営ボランティアは25～26名。写真は代表の鈴木さんと5名の班長。ランチ部、物販部にわかれて活動。



ワンコインランチ(500円・20食限定)。味に定評あり。地場産品使用。



開設当初から人気の惣菜と野菜。100円～

開設のきっかけキーワード

- ◆商店の減少
- ◆買い物難民
- ◆空き家
- ◆地元の野菜と手作り品
- ◆地場産品による食事の提供

DATA
☎ 090(7867)2246
袋井市岡崎2396-9
開設時間 / 金曜日 9:00～14:00
アクセス / JR袋井駅よりバス中遠線、「新岡崎」下車、徒歩1分
駐車場 / 有
代表者 / 鈴木貢
*視察は事前の電話連絡必要

